

M3T-NC308WA,およびM3T-NC30WA ご使用上のお願い -- 依存関係の更新機能強化ツール使用について--

M16Cファミリ用Cコンパイラパッケージ(アセンブラ・統合化開発環境付き) M3T-NC308WAおよびM3T-NC30WAの使用上の注意事項を連絡します。

- 依存関係の更新機能強化ツール使用時の注意事項

1. 該当製品

M32C/90, M32C/80シリーズ, M16C/80, およびM16C/70シリーズ用:
M3T-NC308WA V.5.00 Release 1 ~ V.5.20 Release 1

M16C/60, M16C/30, M16C/20, M16C/10, M16C/Tiny, およびR8C/Tinyシリーズ用:
M3T-NC30WA V.5.00 Release 1 ~ V.5.30 Release 02

2. 内容

統合開発環境 TM V.3.20またはV.3.20Aと組み合わせて使用する場合に、「依存関係の更新」機能を強化するツールに対して、下記いずれかの現象が発生する場合があります。

- (1) 強化ツール(依存関係解析プロセッサ tmcpp.exe)が異常終了する。
- (2) ProjectEditorのツリーに表示されるヘッダファイルが間違っている。
- (3) 一般保護エラー、ページ違反エラー、またはcore dumpが発生する。

3. 発生条件

以下の条件を全て満たす場合に発生します。

- (1) 条件コンパイル"#if ~ #elif"の記述を行っていて、条件コンパイル"#if"の条件式が偽となる。
- (2) 条件コンパイル"#if ~ #elif"の条件式において、#ifもしくは、#elifを含む文字列が512バイト以上になる。

発生例

```
-----  
#define useDef 2  
  
#if useDef == 1  
#include "inc1.h"  
#elif useDef == 2  
#include "inc2.h"  
#endif  
  
void main(void)  
{  
}  
-----
```

上記例では、tmcpp.exeが異常終了します。

4. 回避策

修正版の依存関係解析プロセッサ 圧縮ファイル : tmcpp.zip (34.3KB) をダウンロードしてください。 解凍後、既存のtmcpp.exeと差し替えてください（この修正版プロセッサは和英共通で使用できます）。

tmcpp.exeは、M3T-NC308WAまたはM3T-NC30WAをデフォルトでインストールした場合、以下のフォルダに格納されています。

M3T-NC308WA : ¥mtool¥lib308

M3T-NC30WA * : ¥mtool¥lib30

* NC30WA V.5.30 Release 02のみ以下のフォルダになります。

¥renesas¥nc30wa¥v530r02¥lib30

tmcpp.exeの格納先ディレクトリは、下記手順でも確認することができます。

- (1) ProjectEditorのメニュー「プロジェクト」から「情報」コマンドを選択
- (2) プロジェクトプロパティダイアログボックスの「ツール」タブを選択
- (3) 環境変数リストボックスに表示されている"LIB308"または"LIB30"の値に表示されているディレクトリに格納されています。

5. 恒久対策

本問題は、次期バージョンアップで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.